

平成24年度射水市行財政改革推進会議（第3回）議事要旨

- 1 開催日時 平成24年10月17日（水） 午前10時～午前11時
 - 2 開催場所 射水市役所小杉庁舎401会議室
 - 3 出席者
 - (1) 推進会議委員
荒木委員、奥田委員、尾山委員、田中委員、中村委員、福島委員、牧田委員
 - (2) 当局
教育長
事務局：行政管理部長、行政管理部次長、財政課長、人事課長、人事課長補佐、
人事課員3名
 - 4 傍聴者等 なし
-

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議 題
 - (1) 外部評価の結果について
 - 第1評価グループの評価案 (資料1)
 - 第2評価グループの評価案 (資料2)
 - (2) その他
- 4 閉 会

主な意見等

外部評価の結果について

- (委員) 評価案に盛り込む必要はないが、図書館司書について、他市の事例で図書室が子ども達の駆け込み寺のような場所になっている話もあるため、個々の学校の事情を考えることが大事だと思う。
- (会長) そういったことを含め、手厚く図書館司書を配置していることの成果を明らかにしてもらい、今後の対応に生かしていただきたい。
- (委員) 「費用対効果」という文言については、ニュアンスはよいが表現としては不適切と思われるので、「成果・実績が不明確」の方がよい。
- (会長) 意味が通り、違和感がないのであれば、それでよいと思う。
- (委員) 図書館司書を各校に1名配置しているが、大規模校と小規模校での業務量の実態はどうか。
- (会長) どちらかといえば、「小規模校は図書館司書の勤務時間等に検討の余地があるのではないか」という議論であった。また、学校図書館活動推進費は、図書館司書の配置のほか、図書の購入も含めての事業であるため、そのバランスも考える必要があるのではないかといったことも含め、評価案を「効率的・効果的な配置」としている。各校1名の配置について、一度仕事の負荷や業務の成果を考え直し、その後は担当課で具体的に考えていただきたい。
- (委員) 小中学校校長会という名称について、「なぜ誤解を招くのか」という理由が分かるよう、「親睦会のようで」などと注釈を入れるべき。
- (会長) 委員の発言の趣旨が伝わるよう、考えていただきたい。
- (委員) 新湊南部ふれあいサロンについては、当該地域の特殊性から利用者数が少ないのか。また、参加人数を増やすような試みはできないのか。
- (委員) 利用しづらい場所にあるという要因が非常に大きい。努力はしているが利用者を増やす環境ではないというイメージであった。
- (委員) 小規模な地域ふれあいサロンが209か所あるため、「大規模なサロンを無理して維持せず、小規模の方を増やしていけばよいのではないか」という議論もあった。
- (委員) 「ふれあいサロンがない地域をどうするか」についても評価案に入れた方がよいのではないかという思いはある。

(会 長) 評価案の「サロンが設置されていない地域や非利用者との公平性を考慮」の部分に包含されていると思う。その後の「どのように配置していくのか」という話は、もう少し大きな話でこの事業とは別に考えていかないといけないと思う。

(委 員) 環境衛生対策費について、本事業は外国船による害虫侵入の防除の意味もあるため、評価案の「排水環境の改善」は「地域の排水事情」に限定すればよいと思う。

(会 長) 「外国船が主たる要因であれば、インフラ整備という話ではない」ということで、評価案を「地域の排水事情」に限定する形とする。

(会 長) 報告書の体裁や構成については、私と事務局に一任させていただきたい。

その他

(会 長) 報告書については、作成後、各委員に送付し確認の上、私と副会長から直接市長へ提出する形で進める。